

資料編

計画策定の経緯

		健康づくり 推進協議会	幹事会	部会	その他
令和5年度	9月				健康づくりアンケート調査(妊娠期・乳幼児:9月から12月の4か月間)
	10月			第1回	健康づくりアンケート調査(一般市民:10月中旬から概ね1か月間、小中高生:10月中旬から概ね2週間)
	11月				
	12月				
	1月		第1回開催 ・第2次取り組み状況及び実績報告 ・第2次評価の結果報告 ・健(検)康診査等受診率(健康づくり)をすすめるためのアイデアについて協議	第2回(3部会)開催 ・第2次取り組み状況及び実績報告 ・第2次評価の結果報告 ・健(検)康診査等受診率(健康づくり)をすすめるためのアイデアについて協議	
	2月	第1回開催 ・第2次取り組み状況及び実績報告 ・第2次評価の結果報告 ・健(検)康診査等受診率(健康づくり)をすすめるためのアイデアについて協議			
令和6年度	7月			第1回(3部会)開催 ・第2次評価及び課題、取り組みについて ・重点目標を達成するための取り組みについて協議 ・庁内及び関連機関との連携について協議	
	8月		第1回開催 ・第2次評価及び課題、第3次取り組みについて		

			・庁内及び関連機関との連携について協議		
	9 月	第 1 回開催 ・第2次評価及び課題、第3次取り組みについて ・庁内及び関連機関との連携について協議			
	10 月				
	11 月				
	12 月				関係課ヒアリングの実施
	1 月	勉強会 ・第3次計画概要説明 ・各施策について	第 2 回開催(部会・幹事会合同) ・第3次計画概要説明 ・各施策について ・計画の推進体制について		
	2 月	第2回開催 ・第3次計画についての意見交換			
	3 月				

○うるま市健康づくり推進協議会設置規則

平成29年4月24日

規則第25号

うるま市健康づくり推進協議会設置規則(平成18年うるま市規則第4号)の全部を改正する。

(趣旨)

第1条 この規則は、うるま市附属機関設置条例(平成17年うるま市条例第19号)第3条の規定に基づき、うるま市健康づくり推進協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関する事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について調査審議し、必要に応じて市長に報告し、又は市長の諮問に対して答申するものとする。

- (1) 健康づくり計画及び健康うるま21計画の策定に関すること。
- (2) 健康づくりのための事業推進に関すること。
- (3) その他健康づくりの推進に関すること。

(委員)

第3条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 保健所等の関係行政機関
- (2) 医師会等の保健医療関係団体
- (3) 学校、事業所及び関係団体
- (4) 知識経験者
- (5) 市職員
- (6) その他市長が必要と認めた者

(任期)

第4条 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 協議会の委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(組織)

第5条 協議会に次の組織を置くことができる。

- (1) 本部会
- (2) 専門委員会
- (3) 幹事会

(4) 部会

- 2 前項に規定する各会の委員は、第3条の規定に基づき委嘱され、又は任命された委員の中から市長が指名するものとする。この場合において、新たに委嘱状等の交付をせずとも各会の委員に委嘱され、又は任命されたものとみなす。
- 3 専門委員会、幹事会及び部会は、調査審議した事項について、必要に応じて本部会に報告するものとする。

(会長及び副会長)

第6条 本部会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、本部会の委員の中から互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 本部会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じ会長が招集し、会議の議長となる。

- 2 会長は、会議での審議事項の内容により必要な委員のみを招集するものとする。
- 3 本部会は、招集された委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。
- 4 本部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第8条 協議会の事務局は、市民生活部健康支援課及びこども未来部子育て包括支援課に置く。

(補則)

第9条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の際、現に改正前のうるま市健康づくり推進協議会設置規則第3条の規定による委員(以下「改正前の委員」という。)である者は、改正後のうるま市健康づくり推進協議会第3条の規定による委員(以下「改正後の委員」という。)になるものとし、改正後の委員の任期は、改正前の委員の残任期間に相当する期間とする。

(委員の任期の特例)

- 3 この規則の施行後、最初に委嘱され、又は任命される委員の任期は、第4条第1項の規定にかか

わらず、平成30年3月31日までとする。

附 則(令和4年3月31日規則第17号)

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和6年3月29日規則第23号)

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

うるま市健康づくり推進協議会委員名簿（本部会） ※令和 8 年 3 月 31 日まで委嘱

	氏 名	役 職
1	金城 昇	名城大学 特任教授
2	宮里 義久	沖縄県中部保健所 所長
3	塩田 和誉	中部地区医師会 理事
4	野原 昭彦	野原歯科医院 院長
5	瑞慶覧 博子	うるま市母子保健推進協議会 代表
6	松堂 忍	うるま市食生活改善推進員協議会 会長
7	川満 恵子	沖縄県助産師会 代表
8	比嘉 正彦	うるま市立小中学校校長会 代表
9	榮野川 三千亜	養護教諭会 副会長
10	比屋根 美由紀	うるま市PTA連合会 代表
11	久高 敦子	認定こども園園長会 代表
12	船越 一夫	うるま市体育協会 代表
13	島袋 敏子	うるま市自治会長連絡協議会 代表
14	崎上 桂弥	うるま市青年連合会 代表
15	池原 トモ子	うるま市女性連合会 代表
16	河野 修	うるま市老人クラブ連合会 代表
17	島袋 理	うるま市商工会 代表
18	浜端 淳一	うるま市社会福祉協議会 事務局長
19	山里 瑠美	沖縄県栄養士会 代表
20	上原 利恵子	うるま市 こども未来部長
21	古謝 哲也	うるま市 市民生活部参事

第3次健康うるま21 指標一覧

		指標名		直近実績		中間目標 2029年度	最終目標 2034年度	把握方法		
大目標		健康寿命	男性	78.9	2020年	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	沖縄県市町村別健康指標		
			女性	83.0	2020年					
1. (1)がん (悪性新生物)	最終 アウトカム	がん罹患(診断)数	—	491人	2019年	罹患数の増加率 を県水準または 全国水準並にす る	罹患数の増加率 を県水準または全 国水準並にする	沖縄県がん登録事業報告		
		悪性新生物の標準化死亡比(対 全国)	男性	96.0	2018-2022	減少	中間値より 減少	沖縄県市町村別健康指標		
			女性	98.0	2018-2022					
		悪性新生物の標準化死亡比(対 沖縄県)	男性	103.3	2018-2022	減少	中間値より 減少			
			女性	104.9	2018-2022					
	中間 アウトカム	子宮頸がんワクチン接種率 1回目	—	19.0%	2022年	県水準並み	県水準並み	うるま市予防接種実績		
		子宮頸がんワクチン接種率 2回目	—	11.7%	2022年	県水準並み	県水準並み			
		子宮頸がんワクチン接種率 3回目	—	5.0%	2022年	県水準並み	県水準並み			
		胃がん検診受診率(過去2年)	50～69歳	4.7%	2023年	50%	60%	地域保健・健康増進事業報 告		
		大腸がん検診受診率(過去1年)	40～69歳	6.4%	2023年	50%	60%			
		肺がん検診受診率(過去1年)	40～69歳	7.9%	2023年	50%	60%			
		乳がん検診受診率(過去2年)	40～69歳	11.2%	2023年	50%	60%			
		子宮頸がん検診受診率(過去2年)	20～69歳	10.6%	2023年	50%	60%			
		胃がん精密検査受診率(X線)	50～74歳	85.4%	2022年	増加	90%			
		大腸がん精密検査受診率	40～74歳	74.2%	2022年	増加	90%			
		肺がん精密検査受診率	40～74歳	80.0%	2022年	増加	90%			
		乳がん精密検査受診率	40～74歳	90.6%	2022年	増加	中間値より増加			
		子宮頸がん精密検査受診率	20～74歳	76.8%	2022年	増加	90%			
		1. (2)循環器疾患	最終 アウトカム	脳血管疾患新規患者数(患者千人あたり)	—	2.87	2023年	減少	中間値より 減少	KDBシステム
				虚血性心疾患新規患者数(患者千人あたり)	—	2.8	2023年	減少		
				脳血管疾患の標準化死亡比(対 全国)	男性	88.9	2018-2022	減少	中間値より 減少	沖縄県市町村別健康指標
					女性	83.8	2018-2022			
				脳血管疾患の標準化死亡比(対 沖縄県)	男性	81.7	2018-2022	減少	中間値より 減少	
	女性			89.4	2018-2022					
虚血性心疾患の標準化死亡比(対 全国)	男性			100.5	2018-2022	減少	中間値より 減少			
	女性			89.9	2018-2022					
虚血性心疾患の標準化死亡比(対 沖縄県)	男性			96.4	2018-2022	減少	中間値より 減少			
	女性			99.2	2018-2022					
中間 アウトカム	高血圧該当者の割合 (収縮期血圧値140mmHg以上)		40～74歳 男性	31.3%	2022年	減少	中間値より 減少	健康管理システム (マルチマーカ―)		
			40～74歳 女性	26.9%	2022年					
	脂質異常該当者の割合 (LDLコレステロール160mg/dl以上)		40～74歳 男性	10.9%	2022年	減少	中間値より 減少			
			40～74歳 女性	12.5%	2022年					
	血圧コントロール不良者(Ⅱ度高血圧以上)の割合 (収縮期血圧値160mmHg以上)		40～74歳 男性	7.5%	2022年	減少	中間値より 減少			
			40～74歳 女性	6.9%	2022年					
	コレステロール値コントロール不良者の割合 (LDLコレステロール180mg/dl以上)		40～74歳 男性	3.6%	2022年	減少	中間値より 減少			
			40～74歳 女性	4.5%	2022年					
1. (3)糖尿病	最終 アウトカム	糖尿病新規患者数(患者千人あたり)	—	11.9	2023年	減少	中間値より 減少	KDBシステム		
		糖尿病の標準化死亡比(対 全国)	男性	130.9	2018-2022	減少	中間値より 減少	沖縄県市町村別健康指標		
			女性	179.6	2018-2022					
		糖尿病の標準化死亡比(対 沖縄県)	男性	90.5	2018-2022	減少	中間値より 減少			
			女性	144.3	2018-2022					
	中間 アウトカム	保健指導後の医療受診の割合(高血糖者)	—	69.8%	2022年	増加	70%	健康支援課資料より把握		
		高血糖者の割合【HbA1c 6.5%以上】	40～74歳 男性	13.7%	2022年	減少	全国平均 並みに改善	健康管理システム (マルチマーカ―)		
			40～74歳 女性	8.8%	2022年					
		血糖値コントロール不良者の減少【HbA1c 8.0%以上】	40～74歳 男性	2.9%	2022年	減少	1%			
			40～74歳 女性	1.5%	2022年	減少	1%			
		糖尿病未治療・治療中断者の受診勧奨後の医療受診率	—	21.7%	2022年	増加	30%	健康支援課資料より把握		
		HbA1c6.5%以上の者(健診時)のうち通院中の割合	—	65.4%	2022年	増加	増加	健康管理システム (マルチマーカ―)		
		1. (4)慢性腎臓病 (CKD)	最終 アウトカム	糖尿病性腎症新規患者数(患者千人あたり)	—	1.6	2023年	減少	中間値より 減少	KDBシステム
				糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数	—	20	2022年	18	16	・更生医療台帳(障害福祉課より) ・国保データベースシステム(透析名簿)
			中間 アウトカム	保健指導後の医療受診の割合(高血圧症者)	—	55.5%	2022年	増加	60%	健康支援課資料より把握
		1. (5)慢性閉そく性肺疾患(COPD)	最終 アウトカム	慢性閉そく性肺疾患(COPD)の患者数(国保)	—	889	2023年	減少	中間値より 減少	保険者データヘルス支援システム
				慢性閉そく性肺疾患(COPD)の標準化死亡比(対 全国)	男性	130.8	2018-2022	減少	中間値より 減少	沖縄県市町村別健康指標
	女性			249.3	2018-2022					
慢性閉そく性肺疾患(COPD)の標準化死亡比(対 沖縄県)	男性			116.3	2018-2022	減少	中間値より 減少			
	女性			157.1	2018-2022					
2. (1)ライフコースと性別に応じた健康づくり	1)乳幼児期、学童期	肥満の児童生徒の割合	小学5年生	—	—	新規調査	減少	※中間評価で新規調査(学校保健調査健康状態調査)		
			中学2年生	—	—	新規調査	減少			
		1週間の総運動時間(体育を除く)が60分未満の児童生徒の割合	小学5年生 男子	—	—	新規調査	4%	※中間評価で新規調査(市民アンケート)		
			小学5年生 女子	—	—	新規調査	7%			
			中学2年生 男子	—	—	新規調査	4%			
			中学2年生 女子	—	—	新規調査	9%			
		未成年の飲酒率	中学2年生	3.5%	2023年	0%	0%	アンケート		
			高校2年生(市内の高校生)	4.8%	2023年	0%	0%			

第3次健康うるま21 指標一覧

		指標名	直近実績		中間目標 2029年度	最終目標 2034年度	把握方法			
2. (1)ライフコースや性別に応じた健康づくり	1)こども (乳幼児期、学童期)	喫煙経験のある未成年者の割合	中学2年生 男子	2.3%	2023年	0%	アンケート			
			中学2年生 女子	0.9%	2023年	0%				
			高校2年生 男子 (市内の高校生)	1.1%	2023年	0%				
			高校2年生 女子 (市内の高校生)	2.0%	2023年	0%				
		むし歯のないこどもの割合	3歳児	84.6%	2022年	87%	90%	乳幼児健康診査報告書		
		習慣的な朝食欠食の割合	小学5年生	8.9%	2023年	7%	5%	アンケート		
			中学2年生	13.5%	2023年	11%	9.5%			
			高校2年生 (市内の高校生)	16.7%	2023年	15%	13%			
		2)働き盛り	BMI18.5未満の者の割合	20～64歳	5.7%	2023年	減少	中間値より減少		
			BMI25以上の者の割合	20～64歳	32.1%	2023年				
	生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている者の割合		20歳以上 男性	44.3%	2023年	30%	20%			
	生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている者の割合		20歳以上 女性	16.6%	2023年	13%	10%			
	喫煙率		20歳以上 男性	22.2%	2023年	20%	17%			
			20歳以上 女性	7.8%	2023年	4%	3%			
	運動習慣者の割合		20～64歳 男性	31.4%	2023年	34%	36%			
			20～64歳 女性	21.9%	2023年	27%	30%			
	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合		20歳以上	—	—	新規調査	95.0%	※中間評価で新規調査 (市民アンケート)		
	睡眠で充分休養がとれていると思う者の割合		全体	67.3%	2023年	80%	82%	アンケート		
			20～59歳	64.1%	2023年	70%	77%			
			60歳以上	71.6%	2023年	80%	90%			
			睡眠時間が6～9時間の者の割合	20～59歳	62.3%	2023年	64%			66%
	睡眠時間が6～8時間の者の割合		60歳以上	45.0%	2023年	50%	53%			
	習慣的な朝食欠食の割合	20～74歳	14.5%	2023年	減少	中間値より減少				
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	20～74歳	41.4%	2023年	増加	中間値より増加				
	3)高齢者	肥満の割合	65歳以上	41.2%	2023年	38%	36%	国保連合会健診データ		
		低栄養傾向の者の割合	65歳以上	4.1%	2023年	減少	減少			
		8020達成者(75歳～84歳で自分の歯が20本以上の者の割合)	75～84歳	—	—	新規調査	中間値より増加	※中間評価で新規調査 (市民アンケート)		
		いずれかの社会活動(就労・就学を含む)を行っている高齢者の割合	—	—	—	新規調査	県水準並み			
		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	65歳以上	49.3%	2023年	55%	60%	アンケート		
		4)女性	低出生体重児率	—	11.7%	2022年	減少	中間値より減少	衛生統計年報	
	女性のやせ(BMI18.5未満)の者の割合		20～30歳代	14.9%	2023年	減少	減少	アンケート		
	骨粗しょう症検診受診率		年度年齢で40歳から70歳までの5歳刻み	5.8%	2023年	増加	15%	地域保健・健康増進事業報告		
	妊婦の飲酒率		—	0.1%	2022年	0%	0%	マタニティカード		
	2. (2)歯・口腔	最終アウトカム 中間アウトカム	8020達成者(75歳～84歳で自分の歯が20本以上の者の割合) ※再掲	75～84歳	—	—	新規調査	中間値より増加	※中間評価で新規調査 (市民アンケート)	
50歳以上における咀嚼良好者の割合			50歳以上	66.6%	2023年	増加	80%	アンケート		
40歳以上における歯周炎を有する者の割合			40歳以上	—	—	新規調査	40%	※中間評価で新規調査 (市民アンケート)		
歯間部清掃器具を毎日使用する者の割合			20～74歳	27.2%	2023年	30%	35%	アンケート		
むし歯のないこどもの割合 ※再掲			3歳児	84.6%	2022年	87%	90%	乳幼児健康診査報告書		
			中学1年生	—	—	新規調査	増加	※中間評価で新規調査(学校保健調査健康状態調査)		
歯肉に炎症のあるこどもの割合			中学生	—	—	新規調査	増加			
過去1年間に歯科検診を受診した者の割合 ※再掲			20歳以上	—	—	新規調査	95%	※中間評価で新規調査 (市民アンケート)		
2. (3)身体活動・運動			最終アウトカム	運動習慣者の割合 ※再掲	20～64歳 男性	31.4%	2023年	34%	36%	アンケート
					20～64歳 女性	21.9%	2023年	27%	30%	
	65歳以上 男性	45.3%			2023年	60%	65%			
	65歳以上 女性	38.0%			2023年	46%	50%			
	中間アウトカム	1日の歩数の平均値	20～64歳 男性	5,475歩	2023年	7,500歩	8,000歩	※中間評価で新規調査 (市民アンケート)		
			20～64歳 女性	4,998歩	2023年	7,400歩	8,000歩			
			65歳以上 男性	4,744歩	2023年	5,800歩	6,000歩			
			65歳以上 女性	4,797歩	2023年	5,600歩	6,000歩			
			小学5年生 男子	—	—	新規調査	4%			
			小学5年生 女子	—	—	新規調査	7%			
		中学2年生 男子	—	—	新規調査	4%				
		中学2年生 女子	—	—	新規調査	9%				
		2. (4)飲酒	最終アウトカム	γGTP 51U/L以上の割合	男性	25.4%	2022年	減少	中間値より減少	マルチカーカー
					女性	9.3%	2022年			
ALT(GPT) 31U/L以上の割合	男性			26.1%	2022年					
	女性			11.3%	2022年					
中間アウトカム	生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている者の割合 ※再掲		20歳以上 男性	44.3%	2023年	30%	20%	アンケート		
	生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている者の割合 ※再掲		20歳以上 女性	16.6%	2023年	13%	10%			
	節度ある適度な飲酒量(1日平均純アルコールで約20g程度)を知っている者の割合		20～74歳	20.8%	2023年	40%	60%			
	節度ある適度な飲酒量(1日平均純アルコールで約20g程度)を知っており、飲酒するときは意識して実践している者の割合		20～74歳	—	—	新規調査	60%	※中間評価で新規調査 (市民アンケート)		
	未成年の飲酒率	中学2年生	3.5%	2023年	0%	0%	アンケート			
		高校2年生 (市内の高校生)	4.8%	2023年	0%	0%				
妊婦の飲酒率	妊婦	0.1%	2022年	0%	0%	マタニティカード				

第3次健康うるま21 指標一覧

		指標名		直近実績		中間目標 2029年度	最終目標 2034年度	把握方法			
2. (5) 喫煙	最終 アウトカム	喫煙率 ※再掲	20歳以上 男性	22.2%	2023年	20%	17%	アンケート			
			20歳以上 女性	7.8%	2023年	4%	3%				
		妊婦の喫煙率	3・4か月児	1.9%	2022年	0%	0%	乳幼児健康診査報告書			
		喫煙経験のある未成年者の割合 ※再掲	中学2年生 男子	2.3%	2023年	0%	0%	アンケート			
			中学2年生 女子	0.9%	2023年	0%	0%				
			高校2年生 男子 (市内の高校生)	1.1%	2023年	0%	0%				
			高校2年生 女子 (市内の高校生)	2.0%	2023年	0%	0%				
	中間 アウトカム	喫煙及び受動喫煙が健康に与える影響を認識している者の割合	20～64歳	—	—	新規調査	増加	※中間評価で新規調査 (市民アンケート)			
		禁煙するための方法等について認識している者の割合	20～64歳	—	—	新規調査	増加				
		喫煙者のうち禁煙しようと思う人の割合	—	—	—	新規調査	増加				
	望まない受動喫煙(家庭・職場・飲食店)の機会を有する者の割合	—	—	—	新規調査	県水準並み					
2. (6) 休養・こころ	最終 アウトカム	健康でいきいき過ごせる人の割合	20～74歳 男性	43.4%	2023年	増加	中間値より増加	アンケート			
			20～74歳 女性	43.6%	2023年	増加	中間値より増加				
	中間 アウトカム	睡眠で充分休養がとれていると思う者の割合 ※再掲	全体	67.3%	2023年	80%	82%				
			20～59歳	64.1%	2023年	70%	77%				
			60歳以上	71.6%	2023年	80%	90%				
			睡眠時間が6～9時間の者の割合(再掲)	20～59歳	62.3%	2023年	64%		66%		
		60歳以上		45.0%	2023年	50%	53%				
		睡眠時間が6～8時間の者の割合(再掲)	小学5年生 男子	84.7%	2023年	90%	95%				
			小学5年生 女子	88.0%	2023年	90%	95%				
			中学2年生 男子	89.4%	2023年	90%	95%				
			中学2年生 女子	80.4%	2023年	90%	95%				
			高校2年生 男子 (市内の高校生)	83.0%	2023年	90%	95%				
			高校2年生 女子 (市内の高校生)	92.6%	2023年	95%	98%				
		K6(こころの状態を評価する指標)の合計得点が10点以上の者の割合	20～74歳	13.2%	2023年	10%	9%				
		ゲートキーパー養成数	—	77人 (R4～R5延べ 200人)	2023年	増加	増加		うるま市健康支援課報告 (自殺対策計画より)		
		メンタルヘルスに取り組んでいる事業所の割合	—	—	—	新規調査	県水準並み		※中間評価で新規調査		
		週間就業時間60時間以上の被雇用者の割合	—	—	—	新規調査	県水準並み		※中間評価で新規調査		
		地域の人々とのつながりが強いと思う者の割合	—	—	—	新規調査	県水準並み		※中間評価で新規調査 (市民アンケート)		
		いずれかの社会活動(就労・就学を含む)を行っている者の割合	—	—	—	県水準並み	県水準並み				
		地域や所属コミュニティでの食事会等に参加している者の割合「(共食している者の割合)」	20～74歳	57.2%	2023年	増加	中間値より増加		アンケート		
		2. (7) 栄養・食生活 (食育)	最終 アウトカム	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する者の割合	20～74歳	44.4%	2023年		75%	中間値より増加	
			中間 アウトカム	習慣的な朝食欠食の割合 ※再掲	20～30歳代	19.7%	2023年		15%以下	中間値より減少	
					小学5年生	8.9%	2023年		7%	5%	
					中学2年生	13.5%	2023年		11%	9.5%	
					高校2年生 (市内の高校生)	16.7%	2023年	15%	13%		
				朝食を毎日食べている児の割合	3歳児	96.3%	2022年	増加	増加	乳幼児健康診査報告書	
20～74歳	41.4%				2023年	45%	50%				
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合※再掲	20～30歳代			33.0%	2023年	40%	中間値より増加	アンケート			
	高校2年生 (市内の高校生)			52.4%	2023年	増加	増加				
食事バランスを考えてつくる保護者の割合	3歳児			50.5%	2023年	増加	増加				
	20～74歳			62.9%	2022年	増加	増加				
普段の食事の中で減塩を意識している者の割合	20～74歳			31.4%	2023年	32.5%	90%				
	20～74歳			26.1%	2023年	50%以上	中間値より増加				
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を受け継いでいる市民の割合	20～74歳			48.3%	2023年	55%以上	中間値より増加				
	20～74歳			63.5%	2023年	80%以上	中間値より増加				
上記のうち地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を地域や次世代へ伝えている市民の割合	—			55人	2023年	増加	増加	健康支援課・生産振興課 資料より把握			
3. 全世代の健康意識の醸成	最終 アウトカム			乳幼児健康診査受診率	乳児(前期・後期)	79.8%	2022年	増加	中間値より増加	乳幼児健康診査報告書	
					1歳6ヶ月児	89.8%	2022年	増加	中間値より増加		
			3歳児		87.3%	2022年	増加	中間値より増加			
			特定健康診査受診率	40～74歳	28.9%	2022年	50%	中間値より増加	沖縄県国民健康保険団体 連合会		
				40～74歳	59.7%	2022年	60%	中間値より増加			
			特定保健指導率	40歳未満	2.6%	2022年	増加	中間値より増加	健診データ(委託機関より)		
				生活保護受給者	—	—	—	—			
		長寿健康診査受診率	75歳以上	22.4%	2022年	増加	中間値より増加	沖縄県後期高齢者医療広 域連合			
			—	—	—	—	—				
		骨粗しょう症検診受診率 ※再掲	年度年齢で40歳から 70歳までの5歳刻み	5.8%	2023年	増加	15%	地域保健・健康増進事業報告			
			—	87.8%	2022年	95%	95%				
		定期予防接種の接種率 MR1期	—	78.3%	2022年	95%	95%	うるま市予防接種実績			
			—	—	—	—	—				
		定期予防接種の接種率 MR2期	—	—	—	—	—	アンケート			
			—	—	—	—	—				
		BMI18.5以上25未満の者の割合 ※再掲	20～64歳	58.8%	2023年	増加	中間値より増加				
			65歳以上	44.7%	2023年	—	—				
		BMI20以上25未満の者の割合 ※再掲	20～30歳代	14.9%	2023年	減少	中間値より減少				
			—	—	—	—	—				
		女性のやせ(BMI18.5未満)の者の割合 ※再掲	小学5年生	—	—	新規調査	中間値より減少	※中間評価で新規調査(学 校保健調査健康状態調査)			
			中学2年生	—	—	新規調査	中間値より減少				
		肥満の児童生徒の割合 ※再掲	小学5年生	—	—	新規調査	中間値より減少				
			中学2年生	—	—	新規調査	中間値より減少				
		痩身傾向の生徒の割合	小学5年生	—	—	新規調査	中間値より減少				
			中学2年生	—	—	新規調査	中間値より減少				

第3次健康うるま21 指標一覧

		指標名		直近実績		中間目標 2029年度	最終目標 2034年度	把握方法	
3. 全世代の健康意識の醸成	中間 アウトカム	自身や家族の健康に関心をもち、健診受診等の必要性を理解している者の割合	20～74歳	—	—	新規調査	増加	※中間評価で新規調査 (市民アンケート)	
		自身や家族の健康に関心をもち、予防接種の必要性を理解している者の割合	20～74歳	—	—	新規調査	増加		
		自身や家族の健康に関心をもち、適正体重の維持に向けた生活習慣の改善の必要性を理解している者の割合	20～74歳	—	—	新規調査	増加		
4. (1)切れ目のない妊産婦への保健対策	最終 アウトカム	低出生体重児率	—	11.7%	2022年	減少	中間値より減少	衛生統計年報	
		産後1か月時点での産後うつハイリスク者の割合	—	6.4%	2023年	6.0%	減少	国報告 市町村母子保健統計(市町村実績報告表より)	
	中間 アウトカム	妊婦の喫煙率 ※再掲	3・4か月児	1.9%	2022年	0%	0%	乳幼児健康診査報告書	
		妊婦のやせ傾向者の割合	—	10.3%	2022年	9.0%	8.0%	マタニティカード	
		妊娠高血圧症候群 ※独自指標	—	—	—	新規調査	減少	妊婦健康診査受診票(国保連)	
		妊娠糖尿病 ※独自指標	—	—	—	新規調査	減少		
		妊婦の貧血 ※独自指標	—	—	—	新規調査	減少		
		産後ケア事業の実利用者数	産婦	419件	2023年	増加	増加	市町村実績調査票(市町村母子保健統計調査)	
		産前・産後サポート事業利用者延数	妊産婦	1,195件	2023年	増加	増加	市実績データ	
		妊娠11週以内の妊娠届出率	—	89.6%	2021年	90%	92%	沖縄県の母子保健	
	4. (2)切れ目のない乳幼児への保健対策	最終 アウトカム	かかった病気及び事故の割合	1歳6か月児	0.5%	2022年	0.4%	0.3%	乳幼児健康診査報告書
				3歳児	1.2%	2022年	1.0%	0.8%	
			朝7時までには起床するこどもの割合	3歳児	40.7%	2022年	50.0%	70.0%	
				夜9時までには就寝するこどもの割合	3歳児	8.3%	2022年	10.0%	
朝食を毎日食べる3歳児の割合 ※再掲			3歳児	96.3%	2022年	98.0%	99.0%		
			ゆったりとした気分でこどもとすごせる時間がある母親の割合	乳健前期(3.4か月児)	93.4%	2022年	95.0%	98.0%	
3歳児				88.0%	2022年	90.0%	95.0%		
3歳児			83.3%	2022年	85.0%	90.0%			
			中間 アウトカム	かかりつけ医を持つ児の割合	乳健前期	52.0%	2022年	60%	
3歳児					77.0%	2022年	80%	85%	
かかりつけ医(歯科)を持つ児の割合		3歳児		33.5%	2022年	50%	70%		
		チャイルドシートの使用率		乳健前期	99.1%	2022年	99.5%	99.9%	
1歳6か月児	98.0%		2022年	99%	99.5%				
3歳児	86.3%	2022年	90%	95%					
乳幼児揺さぶられ症候群を知っている親の割合	乳健前期	95.5%	2022年	97%	99%				
乳幼児突然死症候群(SIDS)を知っている保護者の割合 ※独自指標	乳児期	—	—	新規調査	中間値より増加				
4. (3)学童・思春期への保健対策	最終 アウトカム	こどもの発育・発達には規則正しい生活リズムの獲得が重要であると理解している保護者の割合※独自指標	3歳児	—	—	新規調査	中間値より増加	アンケート	
			愛着形成のためのスキンシップ(抱っこ、読み聞かせ、遊びなど)を意識して行う保護者の割合※独自指標	3歳児	—	—	新規調査		中間値より増加
		4. (4)育てにくさを感じる親に寄り添う	全出生数に対する十代の母親の割合	—	2.1%	2022年	1.5%	1%	衛生統計年報
				悩んだ時に相談相手がいる者の割合 ※再掲	小学5年生 男子	84.7%	2023年	90%	95%
			小学5年生 女子	88.0%	2023年	90%	95%		
			中学2年生 男子	89.4%	2023年	90%	95%		
			中学2年生 女子	80.4%	2023年	90%	95%		
			高校2年生 男子(市内の高校生)	83.0%	2023年	90%	95%		
			高校2年生 女子(市内の高校生)	92.6%	2023年	95%	98%		
			高校2年生 男子(市内の高校生)	92.6%	2023年	95%	98%		
悩みを相談できるところを知っている者の割合	小学5年生	24.1%	2023年	50%	70%				
	中学2年生	34.0%	2023年	50%	70%				
高校2年生(市内の高校生)	37.6%	2023年	50%	70%					
プレコンセプションケアを知っている者の割合※独自指標	高校2年生 男子(市内の高校生)	—	—	新規調査	中間値より増加	※中間評価で新規調査 (市民アンケート)			
	高校2年生 女子(市内の高校生)	—	—	新規調査	中間値より増加				
4. (5)子育て世代を孤立させない地域づくり	最終 アウトカム	育てにくさを感じたときに、相談先を知っている等、何らかの解決する方法を知っている保護者の割合	3・4か月児、1歳6か月児、3歳児の平均値	82.6%	2022年	85%	90%	乳幼児健康診査報告書	
			身近に相談相手がいる親の割合	乳健前期	97.7%	2022年	98.0%		99%
		1歳6か月児	97.0%	2022年	98.0%	99%			
		3歳児	97.4%	2022年	97.0%	99%			
	中間 アウトカム	こどもの社会性の発達過程を知っている親の割合	乳健前期	94.8%	2022年	97.0%	99%		
			1歳6か月児	98.1%	2022年	99.0%	99%		
			3歳児	89.0%	2022年	95.0%	99%		
		この地域で今後も子育てをしたいと思う保護者の割合	3・4か月児、1歳6か月児、3歳児の平均値	96.4%	2022年	98%	99%		
			ゆったりとした気分でこどもと過ごせる時間がある母親の割合 ※再掲	乳健前期(3.4か月児)	93.4%	2022年	95%	98%	
			1歳6か月児	88.0%	2022年	90%	95%		
3歳児	83.3%	2022年	85%	90%					
4. (6)子育てで世代を孤立させない地域づくり	最終 アウトカム	子育てをサポートしてくれる人がある保護者の割合	乳健前期	97.1%	2022年	98%	99%		
			1歳6か月児	94.3%	2022年	95%	98%		
		子育ての頑張りを家族や周りの人に認められていると感じる保護者の割合	3歳児	94.3%	2022年	96%	98%		
			乳児	81.6%	2023年	85%	90%		
	中間 アウトカム	乳幼児期に体罰やネグレクト等によらない育児をしている親の割合	1歳6か月児	72.6%	2023年	80%	85%	アンケート	
			3歳児	73.1%	2023年	80%	85%		
		乳幼児期に体罰やネグレクト等によらない育児をしている親の割合	乳健前期(3.4か月児)	96.6%	2022年	97%	98%	乳幼児健康診査報告書	
			1歳6か月児	89.7%	2022年	95%	97%		
			3歳児	78.4%	2022年	85%	95%		

第3次健康うるま21 指標一覧

		指標名	直近実績		中間目標 2029年度	最終目標 2034年度	把握方法	
5. 健康を支えるための社会環境の整備	最終アウトカム	うるま市は健康にやさしく安心して暮らせるまちだと思ふ割合	—	—	新規調査	中間値より増加	※中間評価で新規調査（市民アンケート）	
	中間アウトカム	いずれかの社会活動（就労・就学を含む）を行っている者の割合 ※再掲	—	—	新規調査	県水準並み		
		地域の健康づくりや介護予防活動に参加している者の割合	65歳以上	6.6%	2023年	増加	中間値より増加	介護保険事業計画（※参加者数は一部重複を含む）
		食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している市民の数 ※再掲	—	55人	2023年	増加	増加	健康支援課、生産振興課資料より把握
		地域や所属コミュニティでの食事会等に参加している者の割合「（共食している者の割合）」 ※再掲	20～74歳	57.2%	2023年	増加	中間値より増加	アンケート
		地域で活動する高齢者交流サロンや自身体操サークルの数	—	91か所	2023年	増加	中間値より増加	介護保険事業計画
		地域の人々とのつながりが強いと思う者の増加 ※再掲	—	—	新規調査	県水準並み	※中間評価で新規調査（市民アンケート）	
		ゲートキーパー養成数 ※再掲	—	77人 （R4～R5延べ200人）	2023年	増加	増加	うるま市健康支援課報告（自殺対策計画より）
		歩きやすい地域だと思ふ者の割合	20～74歳	36.0%	2023年	増加	中間値より増加	アンケート
		一人当たりの都市公園等面積	—	11.76㎡	2024年	増加	中間値より増加	第2次うるま市みどりの基本計画※2043年度目標値15.0㎡/人
		うちなー健康経営宣言事業所数	—	—	新規調査	県水準並み	※中間評価で新規調査	
		メンタルヘルス対策に取り組む事業所数 ※再掲	—	—	新規調査	県水準並み	※中間評価で新規調査	
		望まない受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する者の割合 ※再掲	—	—	新規調査	県水準並み	※中間評価で新規調査（市民アンケート）	
		食deかんじゅう応援店に取り組む店舗数の増加（うるま市）	—	6店舗	2025年	増加	中間値より増加	沖縄県（中部保健所健康推進班提供データ）
		健康づくりに関するデジタルツールを活用する者の割合	—	—	新規調査	県水準並み	※中間評価で新規調査（市民アンケート）	

用語集

■※1 生活習慣病

生活習慣病とは、食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒など生活習慣が、発症・進行に関与する疾患群であり、がん（悪性新生物）、心疾患（狭心症や心筋梗塞などの心臓病）、脳血管疾患（脳梗塞やくも膜下出血などの脳の病）などの病気が含まれる。

■※2 健康寿命

健康寿命とは、ある健康状態で生活することが期待される平均期間を指し、生存期間を「健康な期間」と「不健康な期間」に分け、集団における各人の健康な期間の平均が健康寿命となります。

健康寿命の算出には、以下の3つの指標が用いられます。

国・県の計画においては、①の指標を用いていますが、市町村単位での算出は困難であるため、本計画においては、③の指標を用いて国・県・市の比較を行っています。

	指標	調査	備考
①	日常生活に制限のない期間の平均	国民生活基礎調査	市町村単位での算出困難
②	自分が健康であると自覚している期間の平均	国民生活基礎調査	市町村単位での算出困難
③	日常生活動作が自立している期間の平均	介護保険の要介護認定数	市町村単位での算出が可能

■※3 食育

食育は、生きる上での基本で、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てること。

■※4 平均寿命

0歳における平均余命をいう。平均寿命と健康寿命の差は日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味する。

■※5 標準化死亡比(SMR)

死亡率は通常年齢によって大きな違いがあることから、異なった年齢構成を持つ地域別の死亡率を、そのまま比較することはできない。標準化死亡比は、基準死亡率（人口10万対の死亡数）を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するもの。

国の平均を100として、標準化死亡比が100以上の場合は国の平均より死亡率が高いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。

■※6 慢性閉そく性肺疾患(COPD)

慢性閉そく性肺疾患とは、従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称。タバ

この煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患。

■※7 特定健康診査

生活習慣病の予防のために、対象者（40 歳～74 歳）の方にメタボリックシンドロームに着目した健康診査。健康診査とは体の健康状態をある尺度で総合的に確認するプログラムを指す。

■※8 特定保健指導

生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が行うサポート。

■※9 メタボリックシンドローム

メタボリックシンドロームとは、内臓肥満を共通の要因として、代謝性危険因子である血糖高値、脂質異常、血圧高値を呈する病態であり、重複数が多いほど、虚血性心疾患等の心血管疾患や脳梗塞等の脳血管疾患の発症リスクが高くなることがわかっている。一方、内臓脂肪を減少させることで、それらの発症リスクを低減することができる。

■※10 ボディ・マス・インデックス(BMI)

肥満や低体重（やせ）の判定などに元居られる指標で、以下の計算式で示される。

$BMI = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)} \div \text{身長 (m)}$

BMI が 18.5 未満なら「やせ」、18.5 以上 25 未満を「標準」、25 以上を「肥満」としている。

■※11 低出生体重児

出生時の体重が 2,500g 未満の児のこと。低出生体重児は、出生後にも医療的ケアが必要となる場合も多く、また発育・発達の遅延や障害、成人後も含めた健康に係るリスクが大きいことが指摘されている。

■※12 ライフコースアプローチ

胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を時間の経過に伴う変化、健康課題等を捉えた健康づくり。

■※13 ライフステージ

人生の節目ごとに段階に分けること。健康日本 21（第 1 次）では、幼年期、少年期、青年期、壮年期、中年期、高年期の 6 段階が示された。うるま市ではライフステージを、妊娠期、乳幼児期、学童・思春期、青年期、壮年期、高齢期の 6 段階と設定している。

■※14 インセンティブ

目標を達成するために、対象の行動を促す「刺激」や「動機」を意味する。例として、表彰等による本人の健康づくりを鼓舞する取り組みや健康に関する行動をポイント化し物品等と交換できるなど。

■※15 ナッジ理論

人々を強制することなく、望ましい行動に誘導するようなシグナルまたは仕組みのこと。「ひじで軽くつく」「知らず知らず」「そっと後押し」などの意味もある。

■※16 ロジックモデル

施策が目標とする成果を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの。

■※17 パーソナルヘルスレコード(PHR:Personal Health Record)

個人の健康状態、保健、医療、介護に関する履歴を一元的に集約したデータのこと。パーソナルヘルスレコードの活用として自治体、企業、学校、医療機関に散在していた個人の健康状態、保健、医療、介護に関する情報を、マイナンバーと紐付けられたマイナポータルの仕組みを活用しながら、一元的に集約し個人が管理し、必要に応じてそのデータを医療機関や民間企業が利活用できる仕組みづくりが進められている。

■※18 慢性腎臓病(CKD)

何らかの腎障害が3か月を超えて持続する場合と定義されている。腎臓の働きが通常より低下したり、尿たんぱくが出たりする状態が3か月以上続くと、慢性腎臓病(CKD:chronic kidney disease)と判断される。

■※19 歯周病

歯と歯ぐきの隙間から侵入した細菌が、歯肉に炎症を引き起こした状態(歯肉炎)、それに加えて歯を支える骨(歯槽骨)を溶かしてグラグラにさせてしまう状態(歯周炎)を合わせたもの。

■※20 オーラルフレイル

オーラルフレイルは、口の機能の健常な状態と『口の機能低下』との間にある状態。オーラルフレイルであると将来のフレイル、要介護認定、死亡のリスクが高いことがわかっている。

■※21 フレイル

フレイルとは、加齢に伴い心身の働きが衰えた状態のこと。「健康な状態」と「要介護状態の」間の段階にある状態。対策を行えば元の健常な状態に戻る可能性もあるが、放置しておくと要介護状態になる危険性もある。

■※22 ロコモティブシンドローム

ロコモティブシンドロームとは、加齢に伴う筋力の低下や関節や脊椎の病気、骨粗しょう症などにより運動器の機能が衰えて、要介護や寝たきりになってしまうなどのリスクが高い状態を表す。

■※23 純アルコール

酒に含まれるアルコール量のこと。生活習慣病のリスクを高める量は、1日あたりの純アルコール量で、男性は40g以上、女性は20g以上となっている。純アルコール量は「アルコール度数×飲酒量×0.8」で計算される。

■※24 ゲートキーパー

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけてあげられる人のこと。「変化に気づく」「じっくりと耳を傾ける」「支援先につなげる」「温かく見守る」という4つの役割が期待されている。

■※25 産後うつ

産後に気分が沈み、日常の生活でそれまで楽しいと思えていたことが楽しいと思えなくなったり、物事に対する興味がなくなったりする症状。そのようなことが一日中あり、また一定期間（一つの目安としては大体2週間以上）続く。発症の背景要因として、うつ病の既往の他、パートナーからのサポート不足など育児環境要因による影響も大きいとされている。妊娠中から不安やうつの問題がおこっている場合も少なくないため、妊娠中からケアを行う必要がある。

■※26 メンタルヘルス

体の健康ではなく、こころの健康状態を意味する。

■※27 スクールカウンセラー

児童生徒に対する相談のほか、保護者及び教職員に対する相談、教職員等への研修、事件・事故等の緊急対応における被害児童生徒の心のケアなどを行う、臨床心理に専門的な知識・経験を有する者。いじめや不登校、暴力行為や虐待などの問題を解決するために、児童生徒を取り巻く環境に働きかけたり、関係機関などと連携した支援および調整を行う。

■※28 地産地消

地産地消とは、国内の地域で生産された農林水産物を、その生産された地域内において消費すること及び地域において供給が不足している農林水産物がある場合に、他の地域で生産された当該農林水産物を消費すること。

■※29 主食

ごはん、パン、めん類などを主材料とする料理。

■※30 主菜

肉・魚・卵・大豆及び大豆製品などを主材料とする料理。

■※31 副菜

野菜類、海藻類、きのこ類などを主材料とする料理。

■※32 共食

共食とは、誰かと一緒に食事をする事。共食は、主観的健康観や健康的な食生活、生活リズムなどの健康的な生活習慣との関連が指摘されている。

■※33 うるま市農水産業振興戦略拠点施設「うるマルシェ」

うるマルシェは新鮮なうるまの農水産品直売所、地産地消の産直野菜レストランや野外フードコート、イベント開催などのレンタル施設などが揃う市場（マルシェ）。

■※34 栄養成分表示

容器包装に入れられた加工食品等について、食品に含まれる栄養成分に関する情報を示したもの。

■※35 食生活改善推進員

食生活改善推進員は、指定の養成講座を修了した方が『私たちの健康は私たちの手で』をスローガンに、地域で食を通して健康づくり地区組織活動を行っているボランティア団体のこと。

■※36 農漁村生活研究会

地域食材を使った食文化の継承やコミュニティづくりに取り組む団体。

■※37 麻しん風しんワクチン(MR ワクチン)

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症。風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる急性の発疹性感染症。

MR ワクチンを接種することによって、95%程度の人が麻しんウイルスと風しんウイルスに対する免疫を獲得することができると言われ、2回の接種を受けることで1回の接種では免疫が付かなかった方の多くに免疫をつけることができる。

■※38 うるま市子育てアプリ「うるPON」

妊娠・出産・子育ての記録ができ、うるま市の情報をお届けするスマートフォンアプリ。

■※39 母性健康管理指導事項連絡カード

主治医等が行った指導事項の内容を、妊産婦である女性労働者から事業主へ的確に伝えるためのカードのこと。

■※40 乳幼児揺さぶられ症候群

赤ちゃんを激しく揺さぶることで、表面的な外傷はないものの、赤ちゃんの脳に重度の損傷が生じること。

■※41 プレコンセプションケア

「将来の自分と、もしかしたら生まれてくるかもしれない赤ちゃんのために今からできること」を考え、思春期世代の男女が、性や妊娠に関する正しい知識をもち、自身の健康管理ができよう取り組むこと。

■※42 スクールソーシャルワーカー

学校などの教育現場において児童・生徒が生活の中で抱えているさまざまな問題の解決を図る専門職。

■※43 ネグレクト

幼児・高齢者などの社会的弱者に対し、その保護・養育義務を果たさず放任する行為のこと。

■※44 虐待対応ダイヤル「189(いちはやく)」

虐待かと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号で、近くの児童相談所につながる。

■※45 ソーシャルキャピタル(社会的なつながり)

社会を円滑に機能させるために有益な人々の信頼関係や結びつきのこと。「信頼」「社会規範」「ネットワーク」といった人々の協調行動の活発化により、社会の効率性を高めることができる社会組織に特徴的な資本を意味し、従来の物的資本、人的資本などとならぶ新しい概念。

■※46 ウォーカブルなまちづくり(「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり)

「都市再生特別措置法等の一部を改正する法律(令和2年9月7日施行)」により、市町村が、まちなかにおける交流・滞在空間の創出に向けた官民の取組をまちづくり計画に位置付けることができるようになった。国土交通省は、地域の取組に対して、法律・予算・税制のパッケージによる支援を行うことで、「居心地が良く歩きたくなる」空間づくりを促進している。

■※47 ストレスチェック制度

2014 年には労働安全衛生法の改正によって「ストレスチェック制度」が導入され、50 名以上の労働者がいる事業場の実施が義務付けられている。自らのストレスの状況について気付きを促し、個人のメンタルヘルス不調のリスクを低減させるとともに、検査結果を集団的に分析し、職場環境の改善につなげることによって、労働者がメンタルヘルス不調になることを未然に防止することが主な目的である。

■※48 DX(Digital Transformation:デジタルトランスフォーメーション)

デジタル技術を活用して、ビジネスや生活をより良い方向に変革すること。

■※49 EBPM(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング:証拠に基づく政策立案)

政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとする。

■※50 PDCA サイクル

PDCA サイクルとは、「Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善）」という一連のプロセスを繰り返し行うことで、業務の改善や効率化を図る手法の一つ。

第2次 健康うるま21 指標に基づく評価一覧(うるま市健康増進計画)

	指標名	指標の分類	2017年度 直近値	2023年度 目標値	直近実績		評価
大目標	健康寿命 男性	男性	77	延伸	78.62	2020年	変化なし
	健康寿命 女性	女性	79.7	延伸	82.94	2020年	変化なし
	全死亡における65歳未満の割合 男性	男性	19.4%	減少	17.0%	2022年	目標達成
	全死亡における65歳未満の割合 女性	女性	9.7%	減少	8.2%	2022年	目標達成
大目標関連	乳児死亡(出生千対)		1.5	減少	1.6	2022年	悪化
4章3(1)がん	肺がん検診受診率(40歳以上)	肺	11.6%	17.0%	16.1%	2022年	改善
	胃がん検診受診率(40歳以上)	胃	4.0%	増加	10.2%	2022年	目標達成
	大腸がん検診受診率(40歳以上)	大腸	7.4%	14.0%	11.9%	2022年	改善
	乳がん検診受診率(40歳以上)	乳	7.7%	増加	14.5%	2022年	目標達成
	がん検診受診率 子宮(20歳以上)	子宮	14.2%	19.0%	13.1%	2022年	悪化
	肺がん精密検査受診率(40歳以上)	肺	72.5%	増加	84.1%	2021年	目標達成
	胃がん精密検査受診率(40歳以上)	胃	71.3%	増加	88.0%	2021年	目標達成
	大腸がん精密検査受診率(40歳以上)	大腸	55.4%	増加	73.6%	2021年	目標達成
	乳がん精密検査受診率(40歳以上)	乳	81.4%	増加	96.2%	2021年	目標達成
	子宮がん精密検査受診率(20歳以上)	子宮	87.2%	増加	88.1%	2021年	変化なし
4章3(2)循環器	内臓脂肪症候群(メタリックシンドローム)の割合(40～74歳) 男性(該当者)	男性	29.5%	減少	36.7%	2022年	悪化
	内臓脂肪症候群(メタリックシンドローム)の割合(40～74歳) 女性(該当者)	女性	15.7%	減少	17.3%	2022年	悪化
	内臓脂肪症候群(メタリックシンドローム)の割合(40～74歳) 男性(予備軍)	男性	20.6%	減少	20.5%	2022年	変化なし
	内臓脂肪症候群(メタリックシンドローム)の割合(40～74歳) 女性(予備軍)	女性	10.7%	減少	9.6%	2022年	目標達成
	高脂血症者の割合(LDL160以上)(40～74歳) 男性	男性	8.5%	減少	10.9%	2022年	悪化
	高脂血症者の割合(LDL160以上)(40～74歳) 女性	女性	11.7%	減少	12.5%	2022年	悪化
	高血圧者の割合(Ⅰ度高血圧以上)(40～74歳) 男性	男性	27.2%	減少	34.5%	2022年	悪化
	高血圧者の割合(Ⅰ度高血圧以上)(40～74歳) 女性	女性	20.5%	減少	28.8%	2022年	悪化
	・特定健診受診率 40～74歳	40～74歳	37.1%	50.0%	28.9%	2022年	悪化
	・生活習慣病予防健診受診率 40歳未満及び生保受給者	40歳未満及び生保受給者	3.3%	増加	2.6%	2022年	悪化
	・長寿健診受診率 75歳以上	75歳以上	33.2%	増加	22.4%	2022年	悪化
	特定保健指導率 40～74歳	40～74歳	60.9%	60%以上	59.7%	2022年	変化なし
4章3(3)糖尿病	高血糖者の割合【HbA1c 6.5%以上】(40～74歳) 男性	男性	10.3%	減少	13.7%	2022年	悪化
	高血糖者の割合【HbA1c 6.5%以上】(40～74歳) 女性	女性	8.0%	減少	8.8%	2022年	悪化
	血糖値コントロール不良者の減少【HbA1c 8.0%以上】(40～74歳)		1.8%	減少	1.5%	2022年	目標達成
4章3(4)慢性腎臓病(CKD)	糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数		15人/37人(H28)	減少	20	2022年	悪化
4章3(5)慢性閉塞肺疾患(COPD)	喫煙や受動喫煙の健康影響に関する知識を持つ人の割合 20～74歳	20～74歳	82.0%	増加	89%	2023年	目標達成
	禁煙施設認定推進制度の市内施設数の増加		100ヶ所	増加			評価困難
4章4(1)栄養・食生活	・朝食欠食率(20～74歳、男女別) 男性	男性	29.8%	減少	18.4%	2023年	目標達成
	・朝食欠食率(20～74歳、男女別) 女性	女性	21.5%	減少	11.6%	2023年	目標達成
	・朝食を欠食する妊婦の割合		18.7%	減少	15.4%	2023年	目標達成
	・朝食を毎日食べる者の割合 1歳6ヶ月	1歳6ヶ月	93.6%	98%	95.9%	2022年	変化なし
	・朝食を毎日食べる者の割合 3歳児	3歳児	97.1%	98%	96.8%	2022年	変化なし

	指標名	評価の 分類	2017年度 直近値	2023年度 目標値	直近実績		評価
4章4(1) 栄養・食生活	・朝食を毎日食べる者の割合 小学生	小学生	82.6%	87%	83.7%	2022年	変化なし
	・朝食を毎日食べる者の割合 中学生	中学生	75.4%	83%	79.0%	2022年	変化なし
	・朝食を毎日食べる者の割合(高校生) 男子	男子	84.9%	増加	85.3%	2023年	変化なし
	・朝食を毎日食べる者の割合(高校生) 女子	女子	74.7%	増加	79.9%	2023年	目標達成
	・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合(妊婦)		33.2%	増加	33.7%	2023年	変化なし
	・栄養のバランスを考えて食事を作る保護者の割合 3歳児	3歳児	53.7%	増加	50.5%	2023年	悪化
	・食事で赤黄緑がほとんど毎日そろっている者の割合 小学生(朝食)	小学生(朝食)	31.3%	増加	40.6%	2023年	目標達成
	・食事で赤黄緑がほとんど毎日そろっている者の割合 中学生(朝食)	中学生(朝食)	37.0%	増加	38.1%	2023年	変化なし
	・食事で赤黄緑がほとんど毎日そろっている者の割合 小学生(夕食)	小学生(夕食)	59.6%	増加	66.4%	2023年	目標達成
	・食事で赤黄緑がほとんど毎日そろっている者の割合 中学生(夕食)	中学生(夕食)	60.9%	増加	67.7%	2023年	目標達成
	・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合 高校生(男子)	高校生(男子)	62.3%	増加	60.6%	2023年	変化なし
	・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合 高校生(女子)	高校生(女子)	43.3%	増加	46.9%	2023年	目標達成
	・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加(20～74歳、男女別) 男性	男性	24.6%	増加	39.9%	2023年	目標達成
	・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加(20～74歳、男女別) 女性	女性	35.0%	増加	42.6%	2023年	目標達成
	・3歳児の肥満率 男子	男子	2.5%	減少	2.8%	2022年	悪化
	・3歳児の肥満率 女子	女子	5.9%	減少	3.4%	2022年	目標達成
	・肥満傾向者の割合 小学生(男子)	小学生(男子)	10.3%	減少	11.3%	2023年	悪化
	・肥満傾向者の割合 小学生(女子)	小学生(女子)	9.4%	減少	10.6%	2023年	悪化
	・肥満傾向者の割合 中学生(男子)	中学生(男子)	11.2%	減少	13.7%	2023年	悪化
	・肥満傾向者の割合 中学生(女子)	中学生(女子)	13.4%	減少	12.2%	2023年	目標達成
	・痩身傾向者の割合 小学生(男子)	小学生(男子)	1.0%	減少	0.9%	2023年	目標達成
	・痩身傾向者の割合 小学生(女子)	小学生(女子)	1.1%	減少	1.1%	2023年	変化なし
	・痩身傾向者の割合 中学生(男子)	中学生(男子)	2.8%	減少	3.9%	2023年	悪化
	・痩身傾向者の割合 中学生(女子)	中学生(女子)	2.1%	減少	2.8%	2023年	悪化
4章4(2) 歯	80歳における20歯以上自分の歯を有する者の割合		26.6%	増加	30.1%	2022年	目標達成
	・う蝕有病者率 3歳児	3歳児	28.4%	17.7%	16.8%	2022年	目標達成
	・う蝕有病者率 小学生(男子)	小学生(男子)	68.6%	50.6%	57.1%	2023年	改善
	・う蝕有病者率 小学生(女子)	小学生(女子)	63.8%	47.2%	56.6%	2023年	改善
	・う蝕有病者率 中学生(男子)	中学生(男子)	68.1%	36.3%	52.5%	2023年	改善
	・う蝕有病者率 中学生(女子)	中学生(女子)	70.6%	38.8%	57.2%	2023年	改善
	・12歳児のDMFT		2.10本	0.84本			評価困難
	毎日仕上げ磨きをしている保護者の割合 1歳6ヶ月	1歳6ヶ月	74.5%	85.0%	85.2%	2022年	目標達成
	毎日仕上げ磨きをしている保護者の割合 3歳児	3歳児	79.5%	85.0%	90.2%	2022年	目標達成
	定期的な歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合(歯科健診) 20～74歳	20～74歳	30.4%	増加	42.7%	2023年	目標達成
	歯間部清掃用具を毎日使用している者の割合 20～74歳	20～74歳	18.5%	増加	27.2%	2023年	目標達成
4章4(3) 身体活動・運動	定期的に運動をしている者の割合(1日30分以上 2回/週以上の運動を1年以上持続している者の割合)	男性	26.0%	増加	31.4%	2023年	目標達成
	定期的に運動をしている者の割合(1日30分以上 2回/週以上の運動を1年以上持続している者の割合)	女性	19.9%	増加	21.9%	2023年	目標達成
	定期的に運動をしている者の割合(1日30分以上 2回/週以上の運動を1年以上持続している者の割合)	男性	47.1%	増加	45.3%	2023年	変化なし

	指標名	評価の 分類	2017年度 直近値	2023年度 目標値	直近実績		評価
4章4(3)身体活動・運動	定期的に運動をしている者の割合(1日30分以上 2回/週以上の運動を1年以上持続している者の割合)	女性	44.7%	増加	38.0%	2023年	悪化
	日常生活において歩行を1日1時間30分以上実施(20～64歳) 男性(9,000歩以上)	男性(9,000歩以上)	20.0%	増加	17.4%	2023年	悪化
	日常生活において歩行を1日1時間30分以上実施(20～64歳) 女性(8,500歩以上)	女性(8,500歩以上)	14.1%	増加	13.9%	2023年	変化なし
	毎日1日合計60分以上体を動かして遊んでいる者の割合 1歳6ヶ月	1歳6ヶ月	72.2%	増加	74.6%	2023年	変化なし
	毎日1日合計60分以上体を動かして遊んでいる者の割合 3歳児	3歳児	84.2%	増加	68.4%	2023年	悪化
	運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合 ※学校の体育の授業を除く 小学生(男子)	小学生(男子)	63.3%	増加	65.9%	2023年	変化なし
	運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合 ※学校の体育の授業を除く 小学生(女子)	小学生(女子)	42.5%	増加	49.2%	2023年	目標達成
	運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合 ※学校の体育の授業を除く 中学生(男子)	中学生(男子)	83.3%	増加	72.7%	2023年	悪化
	運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合 ※学校の体育の授業を除く 中学生(女子)	中学生(女子)	55.6%	増加	46.7%	2023年	悪化
	運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合 ※学校の体育の授業を除く 高校生(男子)	高校生(男子)	64.2%	増加	61.0%	2023年	変化なし
	運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合 ※学校の体育の授業を除く 高校生(女子)	高校生(女子)	8.8%	増加	36.4%	2023年	目標達成
	地域で行われている、通年型の高齢者の運動教室等に参加している65歳以上の人数(全体)		2,116人	増加			評価困難
4章4(4)飲酒	妊娠届出時に「飲酒している」と答えた妊婦の割合		0.3%	0%	0.1%	2022年	改善
	飲酒経験者の割合 小学生	小学生	23.1%	減少	7.0%	2023年	目標達成
	飲酒経験者の割合 中学生(男子)	中学生(男子)	14.9%	減少	5.6%	2023年	目標達成
	飲酒経験者の割合 中学生(女子)	中学生(女子)	8.6%	減少	1.4%	2023年	目標達成
	飲酒経験者の割合 高校生(男子)	高校生(男子)	8.5%	減少	6.1%	2023年	目標達成
	飲酒経験者の割合 高校生(女子)	高校生(女子)	6.2%	減少	3.8%	2023年	目標達成
	多量飲酒者の割合(20～74歳、男女別)(60g/日以上) 男性	男性	54.8%	減少	45.9%	2023年	目標達成
	多量飲酒者の割合(20～74歳、男女別)(60g/日以上) 女性	女性	23.3%	減少	23.2%	2023年	変化なし
	γ-GTP(51IU/l以上)(40～74歳) 男性	男性	25.2%	減少	26.1%	2022年	変化なし
	γ-GTP(51IU/l以上)(40～74歳) 女性	女性	9.5%	減少	9.9%	2022年	変化なし
4章4(5)喫煙	喫煙率(20～74歳、男女別) 男性	男性	26.2%	減少	23.2%	2022年	目標達成
	喫煙率(20～74歳、男女別) 女性	女性	8.0%	減少	7.0%	2022年	目標達成
	妊婦の喫煙率		3.2%	0.0%	2.0%	2022年	目標達成
	妊婦中の夫の喫煙率		46.0%	減少	30.9%	2022年	目標達成
	喫煙経験者の割合 小学生	小学生	1.5%	減少	1.6%	2023年	悪化
	喫煙経験者の割合 中学生(男子)	中学生(男子)	2.8%	減少	2.3%	2023年	目標達成
	喫煙経験者の割合 中学生(女子)	中学生(女子)	1.9%	減少	0.9%	2023年	目標達成
	喫煙経験者の割合 高校生(男子)	高校生(男子)	1.9%	減少	1.7%	2023年	目標達成
	喫煙経験者の割合 高校生(女子)	高校生(女子)	2.6%	減少	1.4%	2023年	目標達成
	禁煙施設認定推進制度の市内施設数の増加(再掲)		100ヶ所	増加			評価困難
4章4(6)休養・こころ	自殺死亡率(人口10万対)男女別※全年齢 男性	男性	32.7	減少	28.5	2022年	目標達成
	自殺死亡率(人口10万対)男女別※全年齢 女性	女性	6.6	減少	16.0	2022年	悪化
	健康でいきいきと過ごせる人の割合(20～74歳) 全体	全体	55.1%	増加		2023年	評価困難
	健康でいきいきと過ごせる人の割合(20～74歳) 男性	男性	57.9%	増加		2023年	評価困難
	健康でいきいきと過ごせる人の割合(20～74歳) 女性	女性	52.8%	増加		2023年	評価困難
	朝7時まで起床する子どもの割合 1歳6ヶ月	1歳6ヶ月	39.2%	増加	46.3%	2022年	目標達成
	朝7時まで起床する子どもの割合 3歳児	3歳児	33.2%	増加	41.8%	2022年	目標達成

	指標名	評価の 分類	2017年度 直近値	2023年度 目標値	直近実績		評価
4章4(6)休養・こころ	朝7時まで不起床する子どもの割合 小学生	小学生	78.3%	増加	79.3%	2021年	変化なし
	朝7時まで不起床する子どもの割合 中学生	中学生	75.1%	増加	76.2%	2022年	変化なし
	夜9時まで不起床する子どもの割合 1歳6ヶ月	1歳6ヶ月	17.6%	増加	23.2%	2022年	目標達成
	夜9時まで不起床する子どもの割合 3歳児	3歳児	6.1%	増加	8.5%	2022年	目標達成
	夜9時まで不起床する子どもの割合 小学生	小学生	12.4%	増加	11.1%	2021年	悪化
	夜10時まで不起床する子どもの割合 中学生	中学生	21.9%	増加	17.6%	2021年	悪化
	睡眠時間が平均6時間未満の者の割合(20～74歳、男女別) 男性	男性	37.9%	減少	40.2%	2023年	悪化
	睡眠時間が平均6時間未満の者の割合(20～74歳、男女別) 女性	女性	45.1%	減少	43.0%	2023年	変化なし
	悩んだ時に相談相手がいる者の割合 小学生(男子)	小学生(男子)	69.3%	増加	84.7%	2023年	目標達成
	悩んだ時に相談相手がいる者の割合 小学生(女子)	小学生(女子)	85.2%	増加	88.0%	2023年	変化なし
	悩んだ時に相談相手がいる者の割合 中学生(男子)	中学生(男子)	70.1%	増加	89.4%	2023年	目標達成
	悩んだ時に相談相手がいる者の割合 中学生(女子)	中学生(女子)	86.9%	増加	80.4%	2023年	悪化
	悩んだ時に相談相手がいる者の割合 高校生(男子)	高校生(男子)	84.9%	増加	84.4%	2023年	変化なし
	悩んだ時に相談相手がいる者の割合 高校生(女子)	高校生(女子)	95.9%	増加	88.5%	2023年	悪化
	身近に相談相手がいる保護者の割合 乳児	乳児	96.8%	増加	97.1%	2022年	変化なし
	身近に相談相手がいる保護者の割合 1歳6か月	1歳6か月	97.2%	増加	96.7%	2022年	変化なし
	身近に相談相手がいる保護者の割合 3歳児	3歳児	96.6%	増加	97.0%	2022年	変化なし
	悩みを相談できる者がいると答えた者の割合(20～74歳、男女別) 男性	男性	65.6%	増加	68.7%	2023年	変化なし
	悩みを相談できる者がいると答えた者の割合(20～74歳、男女別) 女性	女性	85.2%	増加	82.4%	2023年	変化なし
	悩みを相談できるところを知っている者の割合 小学生(男子)	小学生(男子)	20.1%	増加	24.3%	2023年	目標達成
	悩みを相談できるところを知っている者の割合 小学生(女子)	小学生(女子)	17.7%	増加	24.0%	2023年	目標達成
	悩みを相談できるところを知っている者の割合 中学生(男子)	中学生(男子)	12.1%	増加	30.6%	2023年	目標達成
	悩みを相談できるところを知っている者の割合 中学生(女子)	中学生(女子)	20.1%	増加	37.4%	2023年	目標達成
	悩みを相談できるところを知っている者の割合 高校生(男子)	高校生(男子)	23.6%	増加	34.2%	2023年	目標達成
	悩みを相談できるところを知っている者の割合 高校生(女子)	高校生(女子)	23.2%	増加	39.7%	2023年	目標達成
	(負担となる)ストレスを感じた者の割合(20～74歳) 男性	男性	72.8%	減少	75.6%	2023年	変化なし
	(負担となる)ストレスを感じた者の割合(20～74歳) 女性	女性	83.1%	減少	82.1%	2023年	変化なし
	地域活動に参加している高齢者の割合(65歳以上・男女別) 男性	男性	76.5%	増加			評価困難
	地域活動に参加している高齢者の割合(65歳以上・男女別) 女性	女性	76.5%	増加			評価困難
4章4(7)健康管理	乳幼児健診受診率 乳児 乳児	乳児	87.7%	95.0%	79.8%	2022年	悪化
	乳幼児健診受診率 乳児 1歳6ヶ月時	1歳6ヶ月時	89.0%	94.0%	89.8%	2022年	変化なし
	乳幼児健診受診率 乳児 3歳児	3歳児	81.0%	91.0%	87.3%	2022年	改善
	・特定健診受診率 40～74歳	40～74歳	37.1%	50.0%	28.9%	2022年	悪化
	・生活習慣病予防健診受診率 40歳未満及び生保受給者	40歳未満及び生保受給者	3.3%	増加	2.6%	2022年	悪化
	・長寿健診受診率 75歳以上	75歳以上	33.2%	増加	22.4%	2022年	悪化
	毎日体重測定する者の割合(20～74歳・全体)		18.7%	増加	22.3%	2023年	目標達成
	定期予防接種の接種率 MR1期	MR1期	95.6%	95.0%	87.8%	2022年	悪化
	定期予防接種の接種率 MR2期	MR2期	93.2%	95.0%	78.3%	2022年	悪化

指標に基づく評価一覧(うるま市健やか親子 21)

基盤課題	指標の分類	指標名	2017年実績	2023年度目標値	直近実績		評価
基盤課題1	健康水準	低出生体重児率	14.2%	減少	14.0%	2021年	変化なし
		周産期死亡率(出産千対)	2.2	減少	3.4	2022年	悪化
		死産率(出産千対)	26.2	減少	22.6	2022年	目標達成
		妊婦の痩身傾向者の割合	14.8%	減少	10.3%	2022年	目標達成
	健康行動	11週以内の妊娠届け出率	85.2%	91.4	89.4%	2020年	変化なし
		朝食を欠食する妊婦の割合	18.7%	減少	15.4%	2023年	目標達成
		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合(妊婦)	33.2%	増加	33.7%	2023年	変化なし
		妊娠届出時に「飲酒している」と答えた妊婦の割合	0.3%	0%	0.1%	2022年	改善
		妊婦の喫煙率	3.2%	0%	2.0%	2022年	改善
		妊娠中の夫の喫煙率	46.0%	減少	30.9%	2022年	目標達成
		妊娠中や産後に気分が減入ったり、落ち込んだり時相談できた妊婦の割合	98.4%	増加	98.6%	2023年	変化なし
	参考指標	妊娠期の貧血者の割合(36週以降)	23.9%	-	14.4%	2022年	評価困難
		妊娠高血圧症候群の割合(20週以降)妊娠高血圧	0.4%	-	0.6%	2022年	評価困難
		妊娠高血圧症候群の割合(20週以降)妊娠高血圧腎症	0.1%	-	0.1%	2022年	評価困難
		妊娠高血糖及び妊娠糖尿病の割合(24～28週)(空腹時血糖・境界型)	33.1%	-	28.2%	2022年	評価困難
		妊娠高血糖及び妊娠糖尿病の割合(24～28週)(随時血糖・OGTT対象)	58.0%	-	75.2%	2022年	評価困難
		出産後から今までに不安や負担に感じた母親の割合	53.9%	-	46.6%	2023年	評価困難
		妊娠中仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就労妊婦の割合	-	-			評価困難
基盤課題2	健康水準	乳児死亡(出生千対)	1.5	減少	3.4	2022年	悪化
		新生児死亡(出生千対)	0.7	減少	0.9	2022年	悪化
		3歳児の肥満率 男子	2.5%	減少	2.8%	2022年	悪化
		3歳児の肥満率 女子	5.9%	減少	3.4%	2022年	目標達成
		う蝕有病者率 3歳児	28.4%	17.7%	16.8%	2022年	目標達成
	健康行動	朝食を毎日食べる者の割合 1歳6か月	93.6%	98%	95.9%	2022年	変化なし
		朝食を毎日食べる者の割合 3歳児	97.1%	98%	96.8%	2022年	変化なし
		栄養バランスを考えて食事を作る保護者の割合 3歳児	53.7%	増加	50.5%	2023年	悪化
		毎日仕上げ磨きをしている保護者の割合 1歳6か月	74.5%	85%	85.2%	2022年	目標達成
		毎日仕上げ磨きをしている保護者の割合 3歳児	79.5%	85%	90.2%	2022年	目標達成
		両親の喫煙率 乳児(父親)	44.4%	20%	31.7%	2022年	改善
		両親の喫煙率 乳児(母親)	6.4%	4%	5.3%	2022年	改善
		両親の喫煙率 1歳6か月(父親)	42.1%	20%	31.9%	2022年	改善
		両親の喫煙率 1歳6か月(母親)	9.5%	4%	6.8%	2022年	改善
		両親の喫煙率 3歳児(父親)	40.1%	20%	31.9%	2022年	改善
		両親の喫煙率 3歳児(母親)	10.7%	4%	9.2%	2022年	改善
		朝7時までに起床する子どもの割合 1歳6か月	39.2%	増加	46.3%	2022年	目標達成
		朝7時までに起床する子どもの割合 3歳児	33.2%	増加	41.8%	2022年	目標達成
		夜9時までに就寝する子どもの割合 1歳6か月	17.6%	増加	23.2%	2022年	目標達成
		夜9時までに就寝する子どもの割合 3歳児	6.1%	増加	8.5%	2022年	目標達成
		毎日1日合計60分以上体を動かして遊んでいる者の割合 1歳6か月	72.2%	増加	74.6%	2023年	変化なし
		毎日1日合計60分以上体を動かして遊んでいる者の割合 3歳児	84.2%	増加	68.4%	2023年	悪化

基盤課題	指標の分類	指標名	2017年実績	2023年度目標値	直近実績		評価
基盤課題2	健康行動	乳幼児健診受診率 乳児	87.7%	95%	79.8%	2022年	悪化
		乳幼児健診受診率 1歳6か月	89.0%	94%	89.8%	2022年	変化なし
		乳幼児健診受診率 3歳児	81.0%	91%	87.3%	2022年	改善
		定期予防接種の接種率 MR1期	95.6%	95%	87.8%	2022年	悪化
		定期予防接種の接種率 MR2期	93.2%	95%	78.3%	2022年	悪化
		チャイルドシートの使用率 乳児	96.6%	100%	98.1%	2022年	変化なし
		チャイルドシートの使用率 1歳6か月	94.7%	100%	97.4%	2022年	変化なし
		チャイルドシートの使用率 3歳児	78.6%	100%	85.7%	2022年	改善
		小児救急電話相談（#8000）を知っている者の割合	-	90%			評価困難
		子どものかかりつけ医（医師・歯科医師等）を持つ保護者の割合 乳児（医師）	65.8%	85%	57.3%	2022年	悪化
		子どものかかりつけ医（医師・歯科医師等）を持つ保護者の割合 1歳6か月（医師）	82.7%	95%	75.3%	2022年	悪化
		子どものかかりつけ医（医師・歯科医師等）を持つ保護者の割合 3歳児（医師）	83.5%	95%	76.8%	2022年	悪化
		子どものかかりつけ医（医師・歯科医師等）を持つ保護者の割合 3歳児（歯科医師）	32.6%	50%	32.9%	2022年	変化なし
基盤課題3	健康水準	痩身傾向者の割合 小学生（男子）	1.0%	減少	0.9%	2023年	目標達成
		痩身傾向者の割合 小学生（女子）	1.1%	減少	1.1%	2023年	変化なし
		痩身傾向者の割合 中学生（男子）	2.8%	減少	3.9%	2023年	悪化
		痩身傾向者の割合 中学生（女子）	2.1%	減少	2.8%	2023年	悪化
		肥満傾向者の割合 小学生（男子）	10.3%	減少	11.3%	2023年	悪化
		肥満傾向者の割合 小学生（女子）	9.4%	減少	10.6%	2023年	悪化
		肥満傾向者の割合 中学生（男子）	11.2%	減少	13.7%	2023年	悪化
		肥満傾向者の割合 中学生（女子）	13.4%	減少	12.2%	2023年	目標達成
		う蝕有病者率 小学生（男子）	68.6%	50.6%	57.1%	2023年	改善
		う蝕有病者率 小学生（女子）	63.8%	47.2%	56.6%	2023年	改善
		う蝕有病者率 中学生（男子）	68.1%	36.3%	52.5%	2023年	改善
		う蝕有病者率 中学生（女子）	70.6%	38.8%	57.2%	2023年	改善
		12歳児のDMFT	2.10本	0.84本			評価困難
	健康行動	朝食を毎日食べる者の割合 小学生	82.6%	87%	83.7%	2022年	変化なし
		朝食を毎日食べる者の割合 中学生	75.4%	83%	79.0%	2022年	変化なし
		朝食を毎日食べる者の割合 高校生（男子）	84.9%	増加	85.3%	2023年	変化なし
		朝食を毎日食べる者の割合 高校生（女子）	74.7%	増加	79.9%	2023年	目標達成
		食事で赤黄緑がほとんど毎日そろっている者の割合 小学生（朝食）	31.3%	増加	40.6%	2023年	目標達成
		食事で赤黄緑がほとんど毎日そろっている者の割合 中学生（朝食）	37.0%	増加	38.1%	2023年	変化なし
		食事で赤黄緑がほとんど毎日そろっている者の割合 小学生（夕食）	59.6%	増加	66.4%	2023年	目標達成
		食事で赤黄緑がほとんど毎日そろっている者の割合 中学生（夕食）	60.9%	増加	67.7%	2023年	目標達成
		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合 高校生（男子）	62.3%	増加	60.6%	2023年	変化なし
		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合 高校生（女子）	43.3%	増加	46.9%	2023年	目標達成
		運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合※学校の体育の授業を除く 小学生（男子）	63.3%	増加	65.9%	2023年	変化なし
		運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合※学校の体育の授業を除く 小学生（女子）	42.5%	増加	49.2%	2023年	目標達成
		運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合※学校の体育の授業を除く 中学生（男子）	83.3%	増加	72.7%	2023年	悪化
		運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合※学校の体育の授業を除く 中学生（女子）	55.6%	増加	46.7%	2023年	悪化
		運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合※学校の体育の授業を除く 高校生（男子）	64.2%	増加	61.0%	2023年	変化なし

基盤課題	指標の分類	指標名	2017年実績	2023年度目標値	直近実績		評価
基盤課題3	健康行動	運動やスポーツを週3日以上実践している者の割合※学校の体育の授業を除く 高校生(女子)	8.8%	増加	36.4%	2023年	目標達成
		飲酒経験者の割合 小学生	23.1%	減少	7.0%	2023年	目標達成
		飲酒経験者の割合 中学生(男子)	14.9%	減少	5.6%	2023年	目標達成
		飲酒経験者の割合 中学生(女子)	8.6%	減少	1.4%	2023年	目標達成
		飲酒経験者の割合 高校生(男子)	8.5%	減少	6.1%	2023年	目標達成
		飲酒経験者の割合 高校生(女子)	6.2%	減少	3.8%	2023年	目標達成
		喫煙経験者の割合 小学生	1.5%	減少	1.6%	2023年	悪化
		喫煙経験者の割合 中学生(男子)	2.8%	減少	2.3%	2023年	目標達成
		喫煙経験者の割合 中学生(女子)	1.9%	減少	0.9%	2023年	目標達成
		喫煙経験者の割合 高校生(男子)	1.9%	減少	1.7%	2023年	目標達成
		喫煙経験者の割合 高校生(女子)	2.6%	減少	1.4%	2023年	目標達成
		朝7時までに起床する子どもの割合 小学生	78.3%	増加	79.3%	2021年	変化なし
		朝7時までに起床する子どもの割合 中学生	75.1%	増加	76.2%	2021年	変化なし
		夜9時までに就寝する子どもの割合 小学生	12.4%	増加	11.1%	2021年	悪化
		夜10時までに就寝する子どもの割合 中学生	21.9%	増加	17.6%	2021年	悪化
		悩んだ時に相談相手がいる者の割合 小学生(男子)	69.3%	増加	84.7%	2023年	目標達成
		悩んだ時に相談相手がいる者の割合 小学生(女子)	85.2%	増加	88.0%	2023年	変化なし
		悩んだ時に相談相手がいる者の割合 中学生(男子)	70.1%	増加	89.4%	2023年	目標達成
		悩んだ時に相談相手がいる者の割合 中学生(女子)	86.9%	増加	80.4%	2023年	悪化
		悩んだ時に相談相手がいる者の割合 高校生(男子)	84.9%	増加	84.4%	2023年	変化なし
		悩んだ時に相談相手がいる者の割合 高校生(女子)	95.9%	増加	88.5%	2023年	悪化
		悩みを相談できるところを知っている者の割合小学生(男子)	20.1%	増加	24.3%	2023年	目標達成
		悩みを相談できるところを知っている者の割合小学生(女子)	17.7%	増加	24.0%	2023年	目標達成
		悩みを相談できるところを知っている者の割合中学生(男子)	12.1%	増加	30.6%	2023年	目標達成
		悩みを相談できるところを知っている者の割合中学生(女子)	20.1%	増加	37.4%	2023年	目標達成
		悩みを相談できるところを知っている者の割合高校生(男子)	23.6%	増加	34.2%	2023年	目標達成
		悩みを相談できるところを知っている者の割合高校生(女子)	23.2%	増加	39.7%	2023年	目標達成
	参考指標	全出生数に対する十代の母親の割合	4.3%	-	1.70%	2021年	評価困難
		十代の人工妊娠中絶率(人口千対) (沖縄県)	6.9%	-	8.0%	2021年	評価困難
		ゲーム(スマホも含む)を2時間以上使用している割合 小学生(男子) 小学生(男子)	18.0%	-	54.5% (男女合計)	2022年	評価困難
		ゲーム(スマホも含む)を2時間以上使用している割合 小学生(女子) 小学生(女子)	6.6%	-		2022年	評価困難
		携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1日2時間以上するものの割合 小学生(男子)	-	-	35% (男女合計)	2022年	評価困難
		携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1日2時間以上するものの割合 小学生(女子)	-	-		2022年	評価困難
		携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1日2時間以上するものの割合 中学生(男子)	-	-	56.8% (男女合計)	2022年	評価困難
		携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1日2時間以上するものの割合 中学生(女子)	-	-		2022年	評価困難
		携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1日2時間以上するものの割合 高校生(男子)	45.3%	-	62.3%	2023年	評価困難
		携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1日2時間以上するものの割合 高校生(女子)	64.0%	-	70.8%	2023年	評価困難
重視すべき課題	健康水準	妊娠に戸惑った及び産むかどうか迷った妊婦の割合	10.5%	減少	6.6%	2022年	目標達成
		ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 乳児	90.1%	増加	92.2%	2022年	変化なし
		ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 1歳6か月	83.2%	増加	88.0%	2022年	目標達成
		ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 3歳児	73.5%	増加	83.3%	2022年	目標達成

基盤課題	指標の分類	指標名	2017年実績	2023年度目標値	直近実績		評価
重視すべき課題	健康水準	子育ての頑張りを家族や周りの人に認められていると感じる保護者の割合 乳児	65.3%	増加	81.6%	2023年	目標達成
		子育ての頑張りを家族や周りの人に認められていると感じる保護者の割合 1歳6か月	65.6%	増加	72.6%	2023年	目標達成
		子育ての頑張りを家族や周りの人に認められていると感じる保護者の割合 3歳児	66.3%	増加	73.1%	2023年	目標達成
		この地域で今後も子育てしたいと思う保護者の割合 乳児	93.8%	95%	95.9%	2022年	変化なし
		この地域で今後も子育てしたいと思う保護者の割合 1歳6か月	93.8%	95%	96.5%	2022年	変化なし
		この地域で今後も子育てしたいと思う保護者の割合 3歳児	94.4%	95%	97.2%	2022年	変化なし
	健康行動	身近に相談相手がいる保護者の割合 乳児	96.8%	増加	97.1%	2022年	変化なし
		身近に相談相手がいる保護者の割合 1歳6か月	97.2%	増加	96.7%	2022年	変化なし
		身近に相談相手がいる保護者の割合 3歳児	96.6%	増加	97.0%	2022年	変化なし
		子育てをサポートしてくれる人がいる保護者の割合 乳児	94.7%	増加	96.4%	2022年	変化なし
		子育てをサポートしてくれる人がいる保護者の割合 1歳6か月	94.7%	増加	93.8%	2022年	変化なし
		子育てをサポートしてくれる人がいる保護者の割合 3歳児	94.0%	増加	94.3%	2022年	変化なし
		父親が育児に参加している割合 乳児	92.3%	増加	96.3%	2022年	変化なし
		父親が育児に参加している割合 1歳6か月	91.5%	増加	94.0%	2022年	変化なし
		父親が育児に参加している割合 3歳児	91.2%	増加	92.8%	2022年	変化なし
		育てにくさを感じたときに、相談先を知っている等、何らかの解決する方法を知っている保護者の割合 乳児	89.7%	95%	80.9%	2022年	悪化
		育てにくさを感じたときに、相談先を知っている等、何らかの解決する方法を知っている保護者の割合 1歳6か月	85.6%	95%	84.1%	2022年	変化なし
		育てにくさを感じたときに、相談先を知っている等、何らかの解決する方法を知っている保護者の割合 3歳児	86.3%	95%	87.8%	2022年	変化なし
		乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	99.0%	100%	95.4%	2022年	変化なし
	参考指標	子育てが楽しいと感じる保護者の割合 乳児	96.8%	-	97.7%	2022年	評価困難
		子育てが楽しいと感じる保護者の割合 1歳6か月	95.9%	-	97.1%	2022年	評価困難
		子育てが楽しいと感じる保護者の割合 3歳児	97.0%	-	96.3%	2022年	評価困難
		子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合 乳児	94.3%	-	97.2%	2022年	評価困難
		子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合 1歳6か月	97.6%	-	98.1%	2022年	評価困難
		子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合 3歳児	90.4%	-	89.0%	2022年	評価困難
		子どもに対して不適切な関わりがあった保護者の割合 乳児	8.0%	-	4.0%	2022年	評価困難
		子どもに対して不適切な関わりがあった保護者の割合 1歳6か月	18.2%	-	10.3%	2022年	評価困難
		子どもに対して不適切な関わりがあった保護者の割合 3歳児	39.6%	-	21.6%	2022年	評価困難

指標に基づく評価一覧(うるま市食育推進計画)

	指標名	指標の分類	2017年度 直近値	2023年度 目標値	直近実績		評価
総合目標	食育という言葉も意味も知っている市民の割合(20～74歳)		50.9%	増加	49.8%	2023年	変化なし
	食育に関心がある市民の割合(20～74歳)		22.8%	増加	31.4%	2023年	目標達成
	食生活改善推進員の数		50	増加	41	2023年	悪化
関連指標	朝食欠食率(20～74歳) 男性	男性	29.8%	減少	18.4%	2023年	目標達成
	朝食欠食率(20～74歳) 女性	女性	21.5%	減少	11.6%	2023年	目標達成
	朝食欠食率(20～74歳) 妊婦	妊婦	18.7%	減少	15.4%	2023年	目標達成
	朝食を毎日食べる者の割合 1歳半	1歳半	93.6%	98%	95.9%	2022年	変化なし
	朝食を毎日食べる者の割合 3歳児	3歳児	97.1%	98%	96.8%	2022年	変化なし
	朝食を毎日食べる者の割合 小学生	小学生	82.6%	87%	83.7%	2022年	変化なし
	朝食を毎日食べる者の割合 中学生	中学生	75.40%	83%	79.0%	2022年	変化なし
	朝食を毎日食べる者の割合 高校生(男子)	高校生(男子)	84.9%	増加	85.3%	2023年	変化なし
	朝食を毎日食べる者の割合 高校生(女子)	高校生(女子)	74.7%	増加	79.9%	2023年	目標達成
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日が ほぼ毎日の者の割合(20～74歳) 男性	男性	24.6%	増加	39.9%	2023年	目標達成
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日が ほぼ毎日の者の割合(20～74歳) 女性	女性	35.0%	増加	42.6%	2023年	目標達成
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日が ほぼ毎日の者の割合 妊婦	妊婦	33.2%	増加	33.7%	2023年	変化なし
	栄養バランスを考えて食事を作る保護者の割合 3歳児	3歳児	53.7%	増加	50.5%	2023年	悪化
	朝食で赤・黄・緑がほとんどそろっている者の割合 小学生	小学生	31.3%	増加	40.6%	2023年	目標達成
	朝食で赤・黄・緑がほとんどそろっている者の割合 中学生	中学生	37.0%	増加	38.1%	2023年	変化なし
	夕食で赤・黄・緑がほとんどそろっている者の割合 小学生	小学生	59.6%	増加	66.4%	2023年	目標達成
	夕食で赤・黄・緑がほとんどそろっている者の割合 中学生	中学生	60.9%	増加	67.7%	2023年	目標達成
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日が ほぼ毎日の者の割合 高校生(男子)	高校生(男子)	62.3%	増加	60.6%	2023年	変化なし
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日が ほぼ毎日の者の割合 高校生(女子)	高校生(女子)	43.3%	増加	46.9%	2023年	目標達成
参考	「食育の日」「食育月間」を知っている者の割合(20～74歳)	(20～74歳)	6.4%	増加	食育の日: 6.2% 食育月間: 7.0%	2023年	評価困難
	「食育の日」「食育月間」を知っている者の割合 高校生	高校生	4.3%	増加	食育の日: 8.6% 食育月間: 6.4%	2023年	評価困難
	生活習慣病の予防や改善のためにふだんから適正体重の 維持や減塩などに気をつけた食生活を実践している者の割 合(20～74歳)	(20～74歳)	33.3%	増加	44.4%	2023年	目標達成
	眠る2時間前までに飲食をしない者の割合(20～74歳)	(20～74歳)	37.7%	増加	40.8%	2023年	目標達成
	家族と一緒に食事を食べる機会がほとんど 毎日の者の割 合(20～74歳) 朝食	朝食	31.5%	増加	33.0%	2023年	変化なし
	家族と一緒に食事を食べる機会がほとんど 毎日の者の割 合(20～74歳) 夕食	夕食	45.0%	増加	48.6%	2023年	目標達成
	地域や所属コミュニティ(友人、職場等を含む)での食事に 参加した者の割合(20～74歳)		61.0%	増加	57.2%	2023年	悪化
	農産物を購入するときうるま市産であることを意識している 者の割合(20～74歳)		29.0%	増加		2023年	評価困難
	郷土料理や伝統料理など地域や家庭で受け継がれた料理 や味、食事マナーを受け継いでいる者の割合(20～74歳)		47.7%	増加	48.3%	2023年	変化なし